

広島原爆投下から76年 ～「いのち」について考えよう!～



今日、8月6日は「原爆の日」です。広島原爆投下から76年を迎え、平和記念公園では平和祈念式典が行われました。広島市松井市長は平和宣言で1月に発効した核兵器禁止条約の批准を日本政府に求め、核保有国に対しては条約を機能させるため、議論に加わるよう促しました。一方、菅首相は

条約について言及を避けました。

JR東労組青年部はヒロシマ現地学習行動を毎年開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2年連続で中止せざるを得ませんでした。現地学習行動では、太平洋戦争の際に労働組合が戦争に賛同して多くの市民が犠牲になった教訓を学ぶことや、核の恐ろしさを平和記念公園近辺の碑めぐりや講演を通じて学んできました。毎回講演をいただいている被爆証言の会山岡美知子さんですが2021年度英語の教科書に掲載されました。連帯する仲間と共に平和を希求する活動や戦争政策を推し進める人たちにNOを突きつける行動を起こしていきましょう!



※写真は2018年ヒロシマ現地学習行動です。



「いのち」を守るために自分たちに何ができるのか考え、戦争のない世の中を目指そう!

